

# 鉄道ピクトリアル

2019年9月号 Vol.69 No.9 通巻No.964

〈特集〉「サンライズ出雲・瀬戸」

■表紙 東京駅に入線する「サンライズ出雲・瀬戸」……………進藤 匡

東京 2019-7-6

キヤノンEOS-1D X EF100-400mm F4.5-5.6L IS II USM 絞りf6.3 タイム1/125 ISO3200

■グラフ

孤高の寝台特急

令和に残った唯一の定期夜行列車「サンライズ出雲・瀬戸」(1~8ページ)

石原裕紀・山中 茂・川波伊知郎・仮屋昭典・藤木正成

……………松本洋一・日向 旭・飯塚卓治・津山英士・浜村正弘

井上英樹・佐藤利生・今泉博之・橋本政明・岡本博之

\*

285系電車 形式集……………構成・解説：平石大貴… 41

285系車内カタログ~ようこそ「サンライズ出雲・瀬戸」へ~

……………構成：編集部… 45

客車当時の「出雲」「瀬戸」……………写真：大津 宏・今井和彦ほか… 50

\*

Pictorial Color Gallery 京都 魔界の夏—嵐電「妖怪電車」への誘い—

……………山中 茂… 81

京阪鋼索線リニューアル/JR東日本マニ50 2186を東急へ譲渡/黒部峡谷鉄道3100形増備車営業運転開始/JR東日本「スパーシア那須野号」運転/いすみ鉄道キハ52が国鉄一般色に塗色変更ほか

84~85  
102

各地の話題から……………写真：白川 淳ほか… 86

トピック・フォト(各地・関東・中部・関西)…………… 88

京浜急行電鉄800形引退

800形最後の本線運転「ありがとう800形」特別貸切列車運転

……………京急同趣会… 96

阪急電鉄のヘッドマーク 2018年度版……………竹内 宗隆… 98

東武ニュース……………関 周一…103

連載・昭和の鉄景(第33回)……………椎橋 俊之…104

■本文

今月の話題:「サンライズ出雲・瀬戸」……………編集部… 9

国鉄・JR 鉄道個室概史……………岩成 政和… 10

車両性能面から見た285系と

JR西日本在来線インバータ制御電車の潮流—趣味的視点での考察

……………日向 旭… 25

「サンライズ出雲」「サンライズ瀬戸」乗車体験記……………山田 亮… 58

形式解説 JR西日本・JR東海285系電車……………平石 大貴… 66

陰陽連絡輸送の今昔

山陰本線、伯備線、陰陽連絡線をめぐる今昔の状況と名列車

……………山田 亮…110

\*

鉄道の話題……………編集部… 40

書評(654)『「知」のナビ事典・日本の鉄道—鉄道趣味初心者から

マニア・コレクターまで』……………三木 理史…105

趣味的視点で見たDE10・11・15形の魅力[列車編] ①

……………木村 忠吾…106

6月のメモ帳……………127

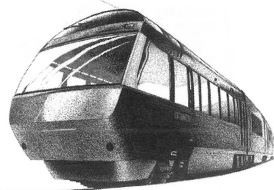
読者短信・情報ファイル……………128

後部車から……………132

ISSN0040-4047

Tetsudō pikutoriaru

今月の話題



カット：山本茂樹

## 「サンライズ出雲・瀬戸」

JR西日本、JR東海の285系特急寝台電車で運転される列車が「サンライズ出雲・瀬戸」である。1998(平成10)年7月のダイヤ改正により、東京—出雲・高松市間で運転を開始したもので、東京—出雲市間の「サンライズ出雲」、東京—高松間の「サンライズ瀬戸」の2列車併結の夜行寝台特急である。7両編成の285系は2編成14両で東京—岡山間を運行し、岡山で分割併合を行う形態となっている。2019(令和元)年7月現在の運転時刻は次のとおりである。

[下り] 高松・出雲市は到着時刻

東京22:00→岡山6:31→高松 7:27

岡山6:34→出雲市9:58

[上り] 岡山・東京は到着時刻

出雲市18:51→岡山22:30

高松 21:26→岡山22:23→東京7:08

運行形態はデビューから21年間変わりなく、運転時刻も大差なく推移している。

「サンライズ出雲・瀬戸」のデビュー当時は、JR各線において夜行寝台特急は全盛期に比べ数は減らしていたものの健在で、285系電車は経年が増加した客車寝台に代わる車両として位置づけられるとともに、夜行寝台の復権の期待を担ったものであった。寝台設備は多彩な個室が基本で、開放寝台に代わるものとして寝台料金不要の「ノビノビ座席」と称する簡易パーテーションを持つフルフラットの座席が用意された。デビュー以来大変な好評を博して現在に至っており、今日まで一般の夜行列車・寝台列車が淘汰された中で、唯一の一般利用可能な夜行寝台特急として活躍を続けている。しかし、登場時JR西日本3編成、JR東海2編成の計5編成が新製されたのみで増備は行われておらず、将来的には気がかりな部分である。とはいえ、依然としてその人気は衰えていないようで、寝台特急として未永い活躍を期待したい。

TETSUDŌTOSHO KANKŌKAI  
Mehrlicht Ochanomizu Bldg., Kanda  
Ogawamachi 3-8 Chiyodaku, Tokyo/Japan